

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
心を伝えあう歌い方を求めて、無理のない自然な声の出し方で歌おう。 「はばたこう明日へ」	3	新しい仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽学習に主体的に取り組む態度を育てる。	○声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。 ○音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。	○歌唱表現に関わる知識(声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり)や技能(音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう 「小フーガト短調」 「交響曲第5番ハ短調作品67」	4	フーガやソナタ形式を理解し、音楽表現の固有性について理解してよさや美しさを聴く。	○曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わりについて理解している。	○鑑賞に関わる知識(曲想と動機の現れ方、ソナタ形式や関わり)を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	○鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
オリジナルのリズムアンサンブルをつくろう	7	リズムの重なりや構成を工夫してリズムアンサンブルをつくる。	○リズムパターンの反復や組み合わせの特徴を理解している。 課題に沿ったリズムパターンを選択する技能を身に付けている。	○創作表現に関わる知識(構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴)や技能(課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。	○創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
曲想を味わいながら合わせて歌おう 「時の旅人」 「大切なもの」	6	曲想を味わって表現を工夫しながら合わせて歌う。	○曲想と楽曲の構造と関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	○歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

合唱の喜び クラス合唱	4	曲想を味わって表現を工夫しながら合わせて歌う。	○曲想と楽曲の構造と関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	○歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
歌詞の内容を味わい、形式を生かして表現を工夫しよう。 「浜辺の歌」 「花の街」	2	歌詞の内容を理解している。曲の形式を生かして歌っている。	○曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 ○音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などの技能を身に付けている。	○歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音等)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
他の声部を聴きながら、声部の役割を生かして合わせて歌おう。 「大切なもの」 「変わらないもの」	7	曲想を味わって表現を工夫しながら合わせて歌う。	○曲想と楽曲の構造と関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	○歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
楽器の豊かな表現を聴き取ろう。 「ボレロ」	2	楽器の音色や音の出る仕組みを理解しながら聴く。	○曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ○楽器の歴史を知る。	○鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ○音楽の多様性を考える。	○鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。